

イラストレーション科		講師名： 大島 遊季	
科目名： 1年前期 Adobe演習		1学年	前期
担当者実務経験： 3DCG映像制作会社を経て、現在フリーランスのイラストレーターとして活動中。その他、音楽系専門学校講師兼任。		講義種別： 演習	
到達目標	・ Adobe Illustrator・Photoshopの基本操作から実務に必要なPC技術を身に着ける。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	Illustrator① ・オブジェクトの描画 ・塗りと線 ・パスファインダー ・ショートカット他	・基本操作を理解する	
2	Illustrator② ・前回の操作を踏まえ、キャラクターの制作 ・整列 ・スウォッチ	・基本操作を理解する	
3	Illustrator③ ・復讐問題 ・テキスト ・アピアランス	・基本操作を理解する	
4	Illustrator④ ・アウトライン ・ロゴ再現 ・グラデーション	・基本操作を理解する	
5	Illustrator⑤ ・線 ・地図の制作	・簡略化した地図を制作	
6	Illustrator⑥ ・ペンツール練習	・基本操作を理解する	
7	Illustrator⑦ ・ペンツール練習 Photoshop① ・切り抜き	・基本操作を理解する	
8	Photoshop② ・合成	・基本操作を理解する	
9	Photoshop③ ・コラージュ	・コラージュ作品を制作	
10	Photoshop④ ・色調補正	・基本操作を理解する	
11	Photoshop⑤ ・加工関係	・基本操作を理解する	
12	Photoshop⑥ ・フィルター ・その他必要機能	・基本操作を理解する	
13	メニュー表制作① ・写真の切り抜き	・ Ai・Psの総まとめとしてメニュー表を制作	
14	メニュー表制作② ・レイアウト	・ Ai・Psの総まとめとしてメニュー表を制作	
15	メニュー表制作③ ・テキスト ・最終調整・提出	・ Ai・Psの総まとめとしてメニュー表を制作	
成績評価	出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。		

イラストレーション科		講師名： 大島 遊季	
科目名： 1年前期 イラストレーション基礎		1学年	前期
担当者実務経験： 3DCG映像制作会社を経て、現在フリーランスのイラストレーターとして活動中。 その他、音楽系専門学校講師兼任。		講義種別： 演習	
到達目標	・表現の幅を増やす。 ・クライアントの意図を汲み取って描くことができる。 ・様々なカットパターンを提案することができる。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	自己紹介シート	・A3コピー用紙にイラストと文字を用いて、自己紹介シートを制作	
2	講評 キャラクター描き分け	・さまざまなキャラクターの特徴を捉える (線幅や頭身) ・明確なポーズの練習	
3	似顔絵	・人物の似顔絵をタッチの差をつけて描く (着彩まで)	
4	コラージュ①	・様々な画材やモチーフを用いて、テクスチャを制作	
5	コラージュ②	・スキャン ・Psによる色調補正	
6	コラージュ③	・パスで組み合わせる	
7	提出・講評 地元PRキャラ①	・地元や今住の場所のオリジナルのPRキャラを制作 ・特産物やお店、観光スポットなど調査	
8	地元PRキャラ②	・モチーフ・タッチ決め ・制作	
9	地元PRキャラ③	・制作	
10	地元PRキャラ④	・制作 ・レイアウト	
11	提出・講評 お菓子パッケージ①	・コンビニにあるお菓子を想定し、ネーミング・形状・レイアウト等すべて考える ・アイデア出し ・方向性・ラフ確認	
12	お菓子パッケージ②	・制作	
13	お菓子パッケージ③	・制作	
14	お菓子パッケージ④ 制作・提出	・最終調整 ・成分表	
15	ドットアニメーション	・Psを使用し、ドットアニメーションを制作	
成績評価	出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。		

イラストレーション科		講師名： 辰巳 葉子	
科目名： 1年前期 図学図法		1学年	前期
担当者実務経験： インテリアメーカーにて商品開発 カラーリング シンガポールの健康機器メーカーにてデザイン/プログラム開発		講義種別： 実技	
到達目標	作図の基本を学ぶ 手書きによる正確で丁寧な作図の練習で、たしかな図形把握能力・空間把握能力を養う 3次元の空間を2次元上に描くことができるようになる		
回	授業内容	課題内容	備考
1	オリエンテーション	◇概論 ◇製図用具の使い方	
2	図学 ① 【平面】		
3	図学 ② 【平面】		
4	図学 ③ 【平面】		
5	図学 ④ 【平面】		
6	図学 ⑤ 【立体】		
7	図学 ⑥ 【立体】		
8	図学 ⑦ 【立体】		
9	図学 ⑧ 【立体】		
10	図学 ⑨ 【空間-パース】		
11	図学 ⑩ 【空間-パース】		
12	図学 ⑪ 【空間-パース】		
13	図学 ⑫ 【空間-パース】		
14	図学 ⑬ 【空間-パース】		
15	まとめと復習		
成績評価	作図の完成度、丁寧さ、レイアウト、授業態度、出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。		

イラストレーション科		講師名： よしもと りえ	
科目名： 1年前期 表現		1学年	前期
担当者実務経験： デザイン事務所にイラストレーターとして勤務後、フリーランスに。 2017年から縁起物作家として活動。東京個展や企画展など多数参加。		講義種別： 実技	
到達目標	様々な素材や画材に触れることで経験値を上げ、自分の適性を見極める。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	初回ガイダンス	スライドによる「視覚の解像度」に関する学習、演習。	
2	【課題1】色鉛筆画（1）	B5サイズセント紙に色鉛筆でイラストを制作	
3	色鉛筆画（2）	前回の続き 完成させて授業終了時に提出	
4	【課題2】水彩画（1）	水彩画を描く	
5	水彩画（2）	前回の続き 完成させて授業終了時に提出	
6	【課題3】アクリル画（1）	Tシャツにアクリル絵の具でイラストを描く	
7	アクリル画（2）	前回の続き 完成させて授業終了時に提出	
8	【課題4】細密画（1）	色紙にブラックのミリペンやボールペンで細かく描き込んだ細密なイラストを制作	
9	細密画（2）	前回の続き	
10	細密画（3）	前回の続き 完成させて授業終了時に提出	
11	【課題5】立体作品（1）	テーマ「情熱」 300×300×300mm以内、素材自由	
12	立体作品（2）	前回の続き	
13	立体作品（3）	前回の続き	
14	立体作品（4）	前回の続き	
15	立体作品（5）	前回の続き 完成させて授業終了時に提出	
成績評価	出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A評価）80点以上 B評価）70～79点 C評価）60～69点 D評価）不合格		

イラストレーション科		講師名： 楠原 彰経	
科目名： 1年前期 描写 I		1学年	前期
担当者実務経験： 美術予備校講師。空間デザイン事務所での業務経験等。		講義種別： 実技	
到達目標	鉛筆デッサンを通じてクリエイティブの土台となる観察力、把握力、表現力を身に付ける。 ※課題によりモチーフを持参してもらう場合があります。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	ガイダンス 画材の説明 レクチャー	予定モチーフ：基本形態（立方体・球・円柱）	
2	立方体・球の理解と表現	予定モチーフ：基本形態（立方体・球・円柱）	
3	円柱の理解と表現	予定モチーフ：基本形態（立方体・球・円柱）	
4	質感表現①	予定モチーフ：ガラスコップ、色紙	
5	質感表現②	予定モチーフ：りんご、布	
6	質感表現③	予定モチーフ：金属製品、ロープ	
7	卓上静物デッサン① 複数モチーフによる実践	モチーフ3点	
8	卓上静物デッサン① 複数モチーフによる実践	モチーフ3点	
9	卓上静物デッサン① 複数モチーフによる実践	モチーフ3点	
10	静物デッサン 大型セットモチーフによる実践	静物セットモチーフ	
11	静物デッサン 大型セットモチーフによる実践	静物セットモチーフ	
12	静物デッサン 大型セットモチーフによる実践	静物セットモチーフ	
13	卓上静物デッサン② 複数モチーフによる実践	モチーフ4点	
14	卓上静物デッサン② 複数モチーフによる実践	モチーフ4点	
15	卓上静物デッサン② 複数モチーフによる実践	モチーフ4点	
成績評価	出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A評価) 80点以上 B評価) 70～79点 C評価) 60～69点 D評価) 不合格		

イラストレーション科		講師名： 杉森 孝	
科目名： 1年前期 描写Ⅱ		1学年	前期
担当者実務経験： 九州産業大学、佐賀大学非常勤講師 香蘭女子短期大学ファッション総合学科教授等を経て現在作家活動。 二科会デザイン部会員・審査員		講義種別： 実技	
到達目標	さまざまな造形活動の土台となる造形言語の理解と習得を目標とする。その為に、描写実習を通して、物の形や構造、光と影の関係、陰影と立体感、質感といった要素について、ものの見方と表現方法を学ぶ。 画材は主に鉛筆や透明水彩、ボールペンなど比較的どこにでもあるものを使用する。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	・授業についてのガイダンス ・複数モチーフの鉛筆デッサン ① 形の取り方、目測について	・靴、一足（左右両方）を鉛筆デッサン	
2	・複数モチーフの鉛筆デッサン ② 形の取り方、目測について	・靴、一足（左右両方）を鉛筆デッサン	
3	・固有色の表現 ① それぞれのものの大きさと位置関係、形の取り方、目測	・ペットボトル、布、果物の鉛筆デッサン	
4	・固有色の表現 ② それぞれのものの大きさと位置関係、形の取り方、目測	・ペットボトル、布、果物の鉛筆デッサン	
5	・質感の表現 ① 固有色、それぞれのものの大きさと位置関係、形と構造	・筆洗、布、角材、筆（3本）を鉛筆デッサン	
6	・質感の表現 ② 固有色、それぞれのものの大きさと位置関係、形と構造	・筆洗、布、角材、筆（3本）を鉛筆デッサン	
7	・透明水彩絵の具の基本的な使い方 ① 質感、固有色、それぞれのものの大きさと位置関係、形と構造	・ガラスコップ、書籍（数冊）、布を透明水彩絵の具で描写	
8	・透明水彩絵の具の基本的な使い方 ② 質感、固有色、それぞれのものの大きさと位置関係、形と構造	・ガラスコップ、書籍（数冊）、布を透明水彩絵の具で描写	
9	・パースを理解して物を構造的に捉える ①	・ナベ（又はヤカン）ガラス瓶（又はガラスコップ）、布を透明水彩で描写 質感、固有色、それぞれのものの大きさと位置関係、形と構造	
10	・パースを理解して物を構造的に捉える ②	・ナベ（又はヤカン）ガラス瓶（又はガラスコップ）、布を透明水彩で描写 質感、固有色、それぞれのものの大きさと位置関係、形と構造	
11	・大きな空間の表現（室内風景） ①	・学内の風景（奥行きを感じる構図）を透明水彩で描写	
12	・大きな空間の表現（室内風景） ②	・学内の風景（奥行きを感じる構図）を透明水彩で描写	
13	・大きな空間の表現（屋外風景） ①	・屋外の風景を透明水彩で描写	
14	・大きな空間の表現（屋外風景） ②	・屋外の風景を透明水彩で描写	
15	・消えない画材による描写	・最初に描いた靴をボールペンで描写	
成績評価	出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A評価）80点以上 B評価）70～79点 C評価）60～69点 D評価）不合格		

イラストレーション科		講師名： 辻 政之	
科目名： 1年前期 平面・色彩構成		1学年	前期
担当者実務経験： 自動車会社カラーデザイナー→デザイン事務所→建築設計事務所→自営デザイン事務所		講義種別： 実技	
到達目標	クリエイターに必要な不可欠な色彩学の基礎を習得する。 クリエイターに必要な色彩・平面構成の基礎、表現方法、技法を習得する。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	オリエンテーション 色彩学の基礎	色彩学の基礎・・・講義・座学（プリント）	
2	色彩学の基礎（プリント） 実技課題／平面構成課題①	色彩学の基礎・・・プリント完成 平面構成課題①・・・立案・スケッチ・下描き	
3	実技課題／平面構成課題①	平面構成課題①・・・下描き・彩色	
4	実技課題／平面構成課題①	平面構成課題①・・・彩色	
5	実技課題／平面構成課題①	平面構成課題①・・・彩色（仕上げ→完成）	
6	実技課題／平面構成課題①（講評会） 実技課題／平面構成課題②	平面構成課題②・・・講義→立案・スケッチ	
7	実技課題／平面構成課題②	平面構成課題②・・・スケッチ・下描き	
8	実技課題／平面構成課題②	平面構成課題②・・・彩色	
9	実技課題／平面構成課題②	平面構成課題②・・・彩色	
10	実技課題／平面構成課題②	平面構成課題②・・・彩色（仕上げ→完成）	
11	実技課題／平面構成課題②（講評会） 実技課題／平面構成課題③	平面構成課題②・・・講義→立案・スケッチ	
12	実技課題／平面構成課題③	平面構成課題③・・・スケッチ・下描き	
13	実技課題／平面構成課題③	平面構成課題③・・・下描き・彩色	
14	実技課題／平面構成課題③	平面構成課題③・・・彩色	
15	実技課題／平面構成課題③	平面構成課題③・・・彩色→完成・講評会	
成績評価	作品評価60% 出席点30% 授業態度10% 授業の2/3以上出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。		

イラストレーション科		講師名： 塩井 一孝	
科目名： 1年前期 立体構成		1学年	前期
担当者実務経験： アーティスト。福岡教育大学大学院修了（教育学修士）。これまでドイツ、ポーランド、マレーシア、インドネシア、中国、韓国、台湾などで展覧会やアートプロジェクトに参加。作品はマレーシア国立美術館ランカウイ、インドネシア・バンドン工科大学、世界遺産・宗像大社に収蔵。九州大学芸術工学部非常勤講師、宮崎市美術展審査員などを歴任。現在、福岡教育大学非常勤講師。		講義種別： 実技	
到達目標	三次元空間における造形の基本原理を理解し、素材との対話を通じて自身の思考を具現化する能力を養う。実習では、素材の物質性や自然の造形美を深く掘り下げる。観察と実験を繰り返すことで、視覚だけでなく触覚的なアプローチからも「立体」を捉え直し、既存の概念にとらわれない造形表現を目指す。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	ガイダンス	授業内容の説明	
2	自然物のスケッチ	自然物（植物や鉱物、昆虫等）をスケッチ	
3	紙による構成（１）	自然物のスケッチを元に、ケント紙で小さな立体作品を制作	
4	紙による構成（２）	前回の続き	
5	紙による構成（３）	講評会 ・各自作品のプレゼンテーションを行う	
6	線による構成（１）	自然物のスケッチを元に、竹ひごで立体作品を制作	
7	線による構成（２）	前回の続き	
8	線による構成（３）	前回の続き	
9	線による構成（４）	前回の続き	
10	線による構成（５）	講評会 ・各自作品のプレゼンテーションを行う	
11	面による構成（１）	自然物のスケッチを元に、ケント紙で立体作品を制作	
12	面による構成（２）	前回の続き	
13	面による構成（３）	前回の続き	
14	面による構成（４）	前回の続き	
15	面による構成（５）	講評会 ・各自作品のプレゼンテーションを行う	
成績評価	※授業終了後、期日内にポートフォリオを提出すること。 出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A評価）80点以上 B評価）70～79点 C評価）60～69点 D評価）不合格		

イラストレーション科		講師名： 大島 遊季	
科目名： 1年後期 Adobe演習		1学年	後期
担当者実務経験： 3DCG映像制作会社を経て、現在フリーランスのイラストレーターとして活動中。その他、音楽系専門学校講師兼任。		講義種別： 演習	
到達目標	・ Adobe Illustrator / Photoshopを使用し、前期で習得した技術を応用する。 ・ 色やフォントの効果を理解し、目的に沿ったデザイン表現が出来る。 ・ 入稿データを作ることが出来る。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	ツアーフライヤーデザイン① ・ 架空のライブツアーまたは展示会を想定し、フライヤーを制作	・ 制作	
2	ツアーフライヤーデザイン②	・ 制作	
3	ツアーフライヤーデザイン③	・ 調整・提出	
4	UniLife① ・ ポスターコンペ	・ 制作	
5	UniLife②	・ 制作	
6	UniLife③	・ 制作・提出	
7	ロゴデザイン① ・ 架空の店舗を想定し、ロゴを制作 ・ 最終的にPsにて実在するよう店舗の外装やアイテムへ合成する	・ 既存のロゴを分析 ・ ラフ	
8	ロゴデザイン②	・ 制作	
9	ロゴデザイン③	・ 制作	
10	ロゴデザイン④	・ 制作 ・ まとめ	
11	CDジャケットデザイン① ・ ランダムで決定した曲のイメージでビジュアルを制作	・ ルーレットにて選曲 ・ 視聴し、曲や歌詞の分析	
12	CDジャケットデザイン②	・ 制作	
13	CDジャケットデザイン③	・ 制作	
14	CDジャケットデザイン④	・ 制作	
15	Photoshop特殊加工 ・ レイヤー効果を活用し、様々な質感の表現加工を行う	・ 制作	
成績評価	出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。		

イラストレーション科		講師名： 小宮 貴一郎	
科目名： 1年後期 イラストレーションⅠ		1学年	後期
担当者実務経験： フリーランスとして、広告を中心にイラストを制作。		講義種別： 実技	
到達目標	技術、思考、観賞力の向上を目指し、プロのイラストレーターになるために自身を育てる力を身につける。 また、自身のイラストレーターとしてのセールスポイントを探る。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	授業方針、成績基準、課題ルールの説明		
2	「商業イラストとは」仕事上の制作の流れなどを解説	呼びかけイラスト	
3	スケッチについて		
4	課題の講評会の意義、やり方など解説。講評会		
5	発想についての解説	人物の移動について、たくさんアイデアを出す	
6	人の描き方解説 1		
7	講評会		
8	人の描き方解説 2	オリジナルの人体ポーズ	
9	動物、建物や車、植物の描き方の紹介1		
10	講評会	動物、無機物の組み合わせ	
11	動物、建物や車、植物の描き方の紹介2		
12	講評会		
13	受注と発注ワークショップ 1		
14	ディフォルメについて		
15	受注と発注ワークショップ 2		
成績評価	出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A評価) 80点以上 B評価) 70～79点 C評価) 60～69点 D評価) 不合格		

イラストレーション科		講師名： 弥 那	
科目名： 1年後期 キャラクターデザイン		1学年	後期
担当者実務経験： 2020年日本デザイナー学院九州校イラストレーション科卒業。その後は福岡県を中心にイベントや展示会、個展活、フリー作家として働きながら講師として活動。		講義種別： 演習	
到達目標	色んなジャンルの書き分けや自由だからその難しさ考える力を少しずつつける。 また想像力の広がりや引き出しを多く持てるように意識。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	今回の授業で身につけることや成績の付け方の説明 課題の内容の連絡	ラフ提出	
2	キャラクター製作①	途中チェック	
3	キャラクター製作①	課題提出、印刷	
4	キャラクター製作②	資料検索、ラフ提出	
5	キャラクター製作②	途中チェック	
6	キャラクター製作②	途中チェック	
7	キャラクター製作②	課題提出、印刷	
8	キャラクター製作③	資料検索、ラフ提出	
9	キャラクター製作③	途中チェック	
10	キャラクター製作③	途中経過チェック	
11	キャラクター製作③講評	課題提出、印刷	
12	キャラクター製作④	ラフ提出、資料検索	
13	キャラクター製作④	途中経過チェック	
14	キャラクター製作④	途中経過チェック	
15	キャラクター製作④	課題提出、印刷	
成績評価	出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A評価) 80点以上 B評価) 70～79点 C評価) 60～69点 D評価) 不合格		

イラストレーション科		講師名： 楠原 彰経	
科目名： 1年後期 デザイン史論		1学年	後期
担当者実務経験： 美術予備校講師。空間デザイン事務所にて業務経験等。		講義種別： 講義	
到達目標	近代デザインの流れと主要なデザインについての知識を得る。 関心の強いデザインの特徴について、歴史的な文脈をふまえた上で説明できる。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	ガイダンス デザイン概論		
2	美術史概説 デザイン史概説	基礎知識の学習と調査・復習	
3	産業革命 アーツ・アンド・クラフツ運動 アール・ヌーヴォー	基礎知識の学習と調査・復習	
4	ドイツ工作連盟 モダニズム	基礎知識の学習と調査・復習	
5	モダニズム バウハウス	基礎知識の学習と調査・復習	
6	アール・デコ ミッドセンチュリー・モダン	基礎知識の学習と調査・復習	
7	東京オリンピック ポストモダン	基礎知識の学習と調査・復習	
8	21世紀のデザイン デザイン史テスト	授業内容からペーパーテスト	
9	テスト解説		
10	ビジュアルレポート制作	興味のあるテーマを選び、ビジュアルレポートを制作	
11	ビジュアルレポート制作	興味のあるテーマを選び、ビジュアルレポートを制作	
12	ビジュアルレポート制作	興味のあるテーマを選び、ビジュアルレポートを制作	
13	ビジュアルレポート制作	興味のあるテーマを選び、ビジュアルレポートを制作	
14	ビジュアルレポート制作・講評	興味のあるテーマを選び、ビジュアルレポートを制作	
15	デザイン史論まとめ		
成績評価	レポート等の提出物の評価 授業内でのテストの得点 学習の意欲		

イラストレーション科		講師名： 宮川 ちえ	
科目名： 1年後期 デジタルイラスト I		1学年	後期
担当者実務経験： ジュエリーデザイナー、イラストレーター、美術予備校講師、大学非常勤講師		講義種別： 演習	
到達目標	Clip Studioの基本操作を覚え、デジタル制作への理解を深める。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	1 オリエンテーション		
2	課題①線画作成		
3	課題①線画作成		
4	課題②アニメ塗り表現		
5	課題②アニメ塗り表現		
6	課題②アニメ塗り表現		
7	課題②アニメ塗り表現		
8	課題③厚塗り表現		
9	課題③厚塗り表現		
10	課題③厚塗り表現		
11	課題③厚塗り表現		
12	課題④水彩表現		
13	課題④水彩表現		
14	課題④水彩表現		
15	課題④水彩表現		
成績評価	出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。		

イラストレーション科		講師名： 大島 遊季	
科目名： 1年後期 デジタルデザイン		1学年	後期
担当者実務経験： 3DCG映像制作会社を経て、現在フリーランスのイラストレーターとして活動中。その他、音楽系専門学校講師兼任。		講義種別： 演習	
到達目標	・ Adobe Illustrator / Photoshopを使用し、DTPに必要なPC技術を学ぶ。 ・ 色やフォントの効果を理解し、目的に沿ったデザイン表現が出来る。 ・ 入稿データを作ることが出来る。 ・ AfterEffectsを使用し、アニメーション表現を行う。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	ステッカーデザイン① ・ 自身のイラストを使用し、ステッカーを制作 ・ 最終的にカットパスの作成やパッキングまで行う	・ イラスト制作	
2	ステッカーデザイン②	・ イラスト制作 ・ Illustratorによるカットパスの作成	
3	ステッカーデザイン③	・ サイズ調整 ・ パッケージ制作 ・ 印刷	
4	名刺① ・ 自身の活動の手助けとなる名刺を制作 ・ 自己分析をし、自分らしさを表現する	・ 形・フォント・色・使用するイラスト等、活動において効果的な構成を考える	
5	名刺②	・ 制作	
6	名刺③	・ 制作	
7	名刺④	・ アウトラインやトリムマークの作成 ・ 印刷・カット	
8	カレンダー① ・ 四季の中から1シーズンのみを選択し、一目で季節感が感じられるようなカレンダーを制作・形・サイズ・イラスト・レイアウト自由	・ イラスト制作	
9	カレンダー②	・ イラスト制作	
10	カレンダー③	・ レイアウト	
11	カレンダー④	・ 調整・提出	
12	アニメーション① ・ 自身のイラストをパーツ毎にレイヤー分けし、最終的にAfterEffectsにて動かす	・ 自身のイラストをパーツ毎にレイヤー分けをしながら描く	
13	アニメーション②	・ イラスト制作	
14	アニメーション③	・ AfterEffectsにて編集	
15	アニメーション④	・ AfterEffectsにて編集 ・ 書き出し・提出	
成績評価	出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。		

イラストレーション科		講師名： 鳥越 一輝	
科目名： 1年後期 ビジュアルアート		1学年	後期
担当者実務経験： ●鳥越ゼミ 画家 鳥越一輝 国内外 個展、アートフェア多数 鳥越ゼミ		講義種別： 演習	
到達目標	●1年時終了後展示可能な作品を制作する（個展、グループ展） ●制作活動原点となり学校生活頂点となる作品の制作を目指す。また卒業後 作家活動の為の模擬。基本毎回面談し次回作と一緒に構想。授業中制作、持ち帰り制作。来週、再来週（時間がかかるものは要相談）に提出してもらいます。この継続する力こそ三年生の卒業制作と卒業後の作家活動に必ず役に立ちます。失敗もたくさんしながら好きなものや成功を体感しましょう！ なんでも相談してください。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	作家の自主制作とは	講義 意見交換	
2	それぞれの日常	アイデアから制作へ展開	
3	自分の興味関心とは	自己の追求	
4	それぞれの日常制作	日常から制作への構想	
5	それぞれの日常 旧作と新作	個別課題	
6	それぞれの日常表現	個別課題	
7	それぞれの日常 挑戦	個別課題	
8	それぞれの日常 環境	個別課題	
9	それぞれの日常 言語化	個別課題	
10	それぞれの日常 脈略	個別指導	
11	それぞれの日常 歴史	個別指導	
12	それぞれの日常 題材	個別指導	
13	それぞれの日常 造形	個別指導	
14	それぞれの日常 世界	個別指導	
15	それぞれの日常 文化	個別指導	
成績評価	●出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A評価) 80点以上 B評価) 70～79点 C評価) 60～69点 D評価) 不合格		

イラストレーション科		講師名： 池田 美保	
科目名： 1年後期 プレゼンススキル		1学年	後期
担当者実務経験： 元ラジオ局アナウンサー/現ラジオ番組/パーソナリティ /番組ディレクター		講義種別： 演習	
到達目標	伝え方の基礎を身につける		
回	授業内容	課題内容	備考
1	1. 「はじめまして！」自己紹介 /コミュニケーション能力と伝えるチカラ/プレゼンテーションとは/この一年で学ぶこと	プレゼンテーションの基礎知識	
2	2. プレゼンの手順 /話しの組み立ての基礎 /ホールパート法について	構成を意識する①	
3	3. プレゼンの初頭効果 /初対面の心理(メラビアンの法則)/ボイスの基礎/話の組み立て「時系列法」	構成を意識する②	
4	4. 知らない間に使ってる「変則時系列」 /「説明」「報告」「発表」の違い /話の組み立て「PREP法」について	構成を意識する③	
5	5. 論理的思考について /情報の集め方 他 /後期課題発表	論理的思考を身につける	
6	6、課題の手順(コンセプトとターゲット) /説明型プレゼンテーション準備(個別指導)Aグループ	主旨を決める	
7	7. プレゼンテーションの構成 /聞き手を分析する/企画概要の作成/説明型プレゼンテーション準備(個別指導)Bグループ	わかりやすさ①	
8	8. 話すスピードをコントロール /間の活用/響く声/アイコンタクト他 /説明型プレゼンテーション準備(個別指導)Cグループ	わかりやすさ②	
9	9. Aグループ 課題実習リハーサル(個別指導)	客観的にチェック	
10	10. Bグループ 課題実習リハーサル(個別指導)	客観的にチェック	
11	11. Cグループ 課題実習リハーサル(個別指導)	客観的にチェック	
12	12. 課題実習(収録) Aグループ	実習体験	
13	13. 課題実習(収録) Bグループ	実習体験	
14	14. 課題実習(収録) Cグループ	実習体験	
15	15. 実習のフィードバック(各自指導)	スキル確認	
成績評価	課題提出点50% 意欲態度20% 出席点30% ※「提出期限」や「課題の条件」など対応できているか		

イラストレーション科		講師名： バックホースト メリッサ 梨奈	
科目名： 1年後期 英語・英会話		1学年	後期
担当者実務経験： 翻訳家・英会話講師		講義種別： 講義	
到達目標	①間違いを恐れず話せるようになる。②知っている言葉を使ってできる限りコミュニケーションをとる努力ができるようになる。③アルファベットと数字を使いこなせるようになる。④自己紹介ができるようになる。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	カタカナ英語・自己紹介		
2	アルファベット・数		
3	10,000以上の数		
4	質問に答える		
5	人物説明・ハロウィン		
6	ゲーム		
7	VとF・算数		
8	パンフレットを読む		
9	TH・アンケートに答える		
10	名前と発音		
11	BとV・広告をつくる		
12	RとL・クリスマス		
13	単語クイズ		
14	スピーチを書く		
15	スピーチをする		
成績評価	出席30%、参加・意欲態度40%、プリント20%、スピーチ発表10%		

イラストレーション科		講師名： 杉森 孝	
科目名： 1年後期 画材表現		1学年	後期
担当者実務経験： 九州産業大学非常勤講師、佐賀大学非常勤講師、香蘭女子短期大学教授を経て、現在作家活動。 二科会デザイン部会員・審査員		講義種別： 演習	
到達目標	透明水彩、パステル、アクリル絵の具など、主にアナログ画材の使い方について、実習課題制作を通じて身につける。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	・授業についての簡単なガイダンス ・透明水彩絵の具を使った抽象的なイラストレーションの制作 ①	・室内風景のスケッチ～抽象化～着彩作業	
2	・透明水彩絵の具を使った抽象的なイラストレーションの制作 ②	・着彩作業の続き～完成・提出へ	
3	・透明水彩絵の具を使った透明水彩絵の具を使ったりアルなイラストレーション ①	・料理と器の写真選択～下描き～着彩	
4	・透明水彩絵の具を使った透明水彩絵の具を使ったりアルなイラストレーション ②	・下描き～着彩作業の続き	
5	・透明水彩絵の具を使った透明水彩絵の具を使ったりアルなイラストレーション ③	・着彩作業～完成～提出	
6	・透明水彩絵の具を使ったハイコントラストなイラストレーション ①	・人物、歴史的建築物、その他の資料収集 ～画面構成・下描き～着彩	
7	・透明水彩絵の具を使ったハイコントラストなイラストレーション ②	・下描き～着彩作業～完成・提出	
8	・パステル（黒、白）とグレーの画用紙を使った人物のリアルなイラストレーション ①	・人物資料選択～下描き～色入れ	
9	・パステル（黒、白）とグレーの画用紙を使った人物のリアルなイラストレーション ②	・下描き～色入れ作業の続き	
10	・パステル（黒、白）とグレーの画用紙を使った人物のリアルなイラストレーション ③	・色入れ作業の続き～完成・提出	
11	・アクリル絵の具を使った切り絵風のイラストレーション ①	・切り絵の素材制作～資料収集～デザイン案・構成の決定	
12	・アクリル絵の具を使った切り絵風のイラストレーション ②	・下描き～スキャニング～フォトショップでの作業	
13	・アクリル絵の具を使った切り絵風のイラストレーション ③	・フォトショップでの作業～完成	
14	・クレヨンを使った技法サンプル集の制作 ①	・フォーマット作図、土台の切り出し ・クレヨンを使ったオリジナルの技法サンプルピースの制作	
15	・クレヨンを使った技法サンプル集の制作 ②	・クレヨンを使ったオリジナルの技法サンプルピースの制作～完成・提出	
成績評価	出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A評価) 80点以上 B評価) 70～79点 C評価) 60～69点 D評価) 不合格		

イラストレーション科		講師名： 亀井 哲治	
科目名： 1年後期 描写Ⅰ		1学年	後期
担当者実務経験： 美大受験予備校に19年勤務。デザインやイラストの仕事にも携わり、その後フリーランスの講師として活動。		講義種別： 実技	
到達目標	さらなる描写力の向上と、画材の表現にこだわった作品制作が出来るようになる。 また、イラストレーション制作に役立つ描写テクニックを身につける。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	鉛筆淡彩		
2	靴の水彩		
3	石膏首像①		
4	石膏首像②		
5	自画像（デッサン）		
6	自画像（水彩）		
7	静物水彩（紙風船）		
8	静物水彩（野菜・果物）		
9	静物水彩（花）		
10	静物組モチーフ		
11	静物組モチーフ		
12	石膏胸像①		
13	石膏胸像②		
14	試験課題		
15	試験課題講評		
成績評価	出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A評価）80点以上 B評価）70～79点 C評価）60～69点 D評価）不合格		

イラストレーション科		講師名： 小宮 貴一郎	
科目名： 2年前期 イラストレーション I		2学年	前期
担当者実務経験： フリーのイラストレーターとして、広告を中心に制作。		講義種別： 実技	
到達目標	技術、思考、観賞力を通してプロのイラストレーターになるために自身を育てる力を身につける。 またイラストレーターとしてのセールスポイントを探る。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	授業方針、成績基準、課題ルールの説明。授業内容の予告。 線について、画材と練習方法の紹介。		
2	モチーフについて1		
3	モチーフについて2	モチーフの演出	
4	日本イラストレーション史		
5	講評会		
6	光と影	光と影について	
7	ラインから構図		
8	講評会		
9	構図	構図を用いたイラスト	
10	シェイプ、バリュー1		
11	シェイプ、バリュー2		
12	講評会		
13	色	ここまでの内容を踏まえたイラスト	
14	イラストレーターの職業上のタブー		
15	講評会		
成績評価	出席/30 課題 提出/30 課題 発想、構成/10 課題 技能/10 課題 理解/10 取組/10 計100(点)		

イラストレーション科		講師名： 弥 那	
科目名： 2年前期 キャラクターデザイン		2学年	前期
担当者実務経験： 2020年日本デザイナー学院九州校イラストレーション科卒業。その後は福岡県を中心にイベントや展示会、個展活、フリー作家として働きながら講師として活動。		講義種別： 実技	
到達目標	自分の個性をつける、見つける、活かせるそれぞれに沿った所を重視しながら、作品の幅や技術などを身につけてもらう。 また生徒個人の活動などでアドバイスなどできそうなことはしていき、生徒が活動しやすいようにする。 また納期やモチベーションなどを意識		
回	授業内容	課題内容	備考
1	1年生と2年生での課題の内容の違いや3年制だからこそ2年生でできることを伝える。課題が少し厳しくなることも伝える。制限された内容でのキャラデザ	一年生の授業内容からワンランク上の課題製作↓以下ずっと	
2	課題の進み具合チェック 早めに課題の対応をできるよう納期を意識	引き続き製作	
3	課題製作	課題チェック	
4	課題提出、講評	課題提出、ラフ	
5	制限されたキャラデザ②	ラフ	
6	制限されたキャラデザ②	途中経過チェック	
7	制限されたキャラデザ②	途中経過チェック	
8	制限されたキャラデザ②	課題提出、印刷	
9	制限されたキャラデザ③	ラフ提出	
10	制限されたキャラデザ③	途中経過チェック	
11	制限されたキャラデザ③	途中経過チェック	
12	制限されたキャラデザ③ 講評	課題提出、印刷	
13	制限されたキャラデザ④前期最終課題 1～2年生の課題応用まとめ 厳しく採点	ラフ案、資料探し	
14	制限されたキャラデザ④	途中経過チェック	
15	制限されたキャラデザ④	課題提出、印刷講評 教室内にてミニ展覧会	
成績評価	出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 2年生からは採点基準をさらに厳しく、締切や課題内容に沿っているか等採点する。		

イラストレーション科		講師名： 宮川 ちえ	
科目名： 2年前期 デジタルイラストⅠ		2学年	前期
担当者実務経験： ジュエリーデザイナー・イラストレーター・大学非常勤講師		講義種別： 実技	
到達目標	衣装デザインや三面図の制作を通してデジタルでの制作への理解を深める。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	オリエンテーション		
2	課題①イラストコンペ		
3	課題①イラストコンペ		
4	課題①イラストコンペ		
5	課題①イラストコンペ		
6	課題②模写		
7	課題②		
8	課題②		
9	課題②		
10	課題③三面図制作		
11	課題③		
12	課題③		
13	課題④イラスト制作		
14	課題④		
15	課題④		
成績評価	出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A評価) 80点以上 B評価) 70～79点 C評価) 60～69点 D評価) 不合格		

イラストレーション科		講師名： 大島 遊季	
科目名： 2年前期 デジタルデザイン		2学年	前期
担当者実務経験： 3DCG映像制作会社を経て、現在フリーランスのイラストレーターとして活動中。その他、音楽系専門学校講師兼任。		講義種別： 実技	
到達目標	・クライアントの意図を汲み取って描くことができる。 ・自分の絵柄をどう展開するか考え、イラストのみでなく最低限のデザインまで行う。 ・1枚絵ではなく、複数カットを描くことができる。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	イラストマップ① 自分の出身地や好きな場所をピックアップし、一目でわかるマップを作る。	・場所についてリサーチ ・モチーフ選び ・道のトリミング	
2	イラストマップ②	・全体のタッチ決め ・モチーフの描き出し	
3	イラストマップ③	・制作	
4	イラストマップ④	・制作 ・タイトル	
5	雑誌 星座イラスト① 雑誌の星座占いページを想定し、イラスト制作からレイアウトまで行う	・テイストや内容の決定	
6	雑誌 星座イラスト②	・タッチ決め	
7	雑誌 星座イラスト③	・制作	
8	雑誌 星座イラスト④	・制作	
9	雑誌 星座イラスト⑤	・レイアウト ・提出	
10	切手シートデザイン① ・切手シート丸々のデザイン	・1点1点の描き込みをしっかりと行う ・一貫したテーマ ・それぞれの価格設定 ・形決め	
11	切手シートデザイン②	・制作	
12	切手シートデザイン③	・制作	
13	切手シートデザイン④	・制作 ・提出	
14	個展DM① ・自身の過去作品を用いて、個展を想定したDMを制作	・自身のタッチや特徴がアピール出来るDMに	
15	個展DM②	・制作 ・提出	
成績評価	出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A評価) 80点以上 B評価) 70～79点 C評価) 60～69点 D評価) 不合格		

イラストレーション科		講師名： 鳥越 一輝	
科目名： 2年前期 ビジュアルアート		2学年	前期
担当者実務経験： ●鳥越ゼミ 画家 鳥越一輝 国内外 個展、アートフェア多数 鳥越ゼミ		講義種別： 実技	
到達目標	●2年時終了後（前期終了後でも可）展示可能な作品を制作する（個展、グループ展） ●制作活動原点となり 学校生活頂点となる作品の制作を目指す。また卒業後 作家活動の為の模擬。基本毎回面談し次回作と一緒に構想。授業中制作、持ち帰り制作 来週、再来週（時間がかかるものは要相談）に提出してもらいます。この継続する力こそ三年生の卒業制作と卒業後の作家活動に必ず役に立ちます。失敗もたくさんしながら好きなものや成功を体感しましょう！なんでも相談してください。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	作家の自主制作とは	講義 意見交換	
2	それぞれの日常卒制に向けて	アイデアから制作へ展開	
3	自分の興味関心とは	自己の追求	
4	それぞれの日常制作	日常から制作への構想	
5	それぞれの日常 日作と新作	個別課題	
6	それぞれの日常表現	個別課題	
7	それぞれの日常 挑戦	個別課題	
8	それぞれの日常 環境	個別課題	
9	それぞれの日常 言語化	個別課題	
10	それぞれの日常 脈略	個別指導	
11	それぞれの日常 歴史	個別指導	
12	それぞれの日常 題材	個別指導	
13	それぞれの日常 造形	個別指導	
14	それぞれの日常 日本	個別指導	
15	それぞれの日常 文化	個別指導	
成績評価	●出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A評価）80点以上 B評価）70～79点 C評価）60～69点 D評価）不合格		

イラストレーション科		講師名： 池田 美保	
科目名： 2年前期 プレゼンススキル		2学年	前期
担当者実務経験： 元ラジオ局アナウンサー/現ラジオ番組パーソナリティ /番組ディレクター		講義種別： 実技	
到達目標	分析を学び、相手を意識して「説得するチカラ」を身につける。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	今学期のシラバス説明 /説明型プレゼンと提案型プレゼンについて/提案型プレゼンテーション課題発表/作業手順の確認	プレゼンテーションの目的を理解して取り 組む /締め切りを意識したスケジュール管理	
2	「やりたいことを見つける(自己分析) /価値提案思考(ニーズとシーズ) /企業研究の基礎	自己分析と企業分析	
3	提案型のベネフィット表現ほか /提案型プレゼンテーション準備(個別指導)	相手を決める /相手を意識したプレゼンテーション	
4	提案型プレゼンテーション準備(個別指導)	具体的な自己分析と企業研究	
5	提案型プレゼンテーション準備(個別指導)	具体的な自己分析と企業研究	
6	Aグループ リハーサル(個別指導)	スライド構成とパフォーマンスのチェック	
7	Bグループ リハーサル(個別指導)	スライド構成とパフォーマンスのチェック	
8	Cグループ リハーサル(個別指導)	スライド構成とパフォーマンスのチェック	
9	Aグループ 提案型プレゼンテーション 実習	相手を説得するチカラを身につける	
10	Bグループ 提案型プレゼンテーション実習	相手を説得するチカラを身につける	
11	Cグループ 提案型プレゼンテーション実習 /Aグループプレゼン フィードバック	相手を説得するチカラを身につける	
12	B・Cグループ プレゼン フィードバック /夏休み課題発表/問題解決思考について他		
13	夏休み課題ショートプレゼン実習	誰かを楽しませるプレゼン	
14	夏休み課題ショートプレゼン フィードバック /発想トレーニング法について /情報の視覚化		
15	1年間のまとめ /これからのプレゼンテーションのために(社会人編)	「学生としてのプレゼン」と「社会人とし てのプレゼン」の違い	
成績評価	課題提出点50% 意欲態度20% 出席点30% ※「提出期限」や「課題の条件」など対応できているか		

イラストレーション科		講師名： バックホースト メリッサ 梨奈	
科目名： 2年前期 英語・英会話		2学年	前期
担当者実務経験： 翻訳家・英会話講師		講義種別： 講義	
到達目標	①英語話者と英語による意思疎通を試みることができるようになる（知っている単語を駆使する、ジェスチャーを使うなど）。②日常生活・海外旅行時の簡単な質疑応答ができるようになる。③読む・書くだけでなく、聴く・話すができるようになる。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	質問をする		
2	買い物をする		
3	道案内をする		
4	道路標識		
5	入国審査・税関を通る		
6	ゲーム		
7	接頭辞		
8	海外の祝日		
9	アンケートに答える		
10	小切手を書く		
11	食品・身体・職業・ことわざ		
12	アニメ・歌		
13	単語クイズ		
14	スピーチを書く		
15	スピーチをする		
成績評価	出席30%、参加・意欲態度40%、プリント20%、スピーチ発表10%		

イラストレーション科		講師名： 杉森 孝	
科目名： 2年前期 画材表現		2学年	前期
担当者実務経験： 九州産業大学非常勤講師、佐賀大学非常勤講師、香蘭女子短期大学教授を経て、現在作家活動。 二科会デザイン部会員・審査員。		講義種別： 実技	
到達目標	印象派やキュビズムなどの美術史上の表現形式をたどりながら、主にアクリル絵の具のさまざまな使い方を身につける。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	・クレヨンとその他の画材を併用したイラストレーションの制作	・テーマに沿ってアイデアスケッチ～モチーフの資料収集～下描き～色入れ	
2	・クレヨンとその他の画材を併用したイラストレーションの制作	・下描き～色入れ～完成・提出	
3	・印象派（モネ）の作品を参考にして、印象派独自の色彩、技法について学ぶ ①	・資料（風景写真）の収集～下描き～色入れ	
4	・印象派（モネ）の作品を参考にして、印象派独自の色彩、技法について学ぶ ②	・色入れ～完成・提出	
5	・キュビズムの手法を使って抽象的な表現を学ぶ ①	・資料収集～人物スケッチ～抽象化～下描き	
6	・キュビズムの手法を使って抽象的な表現を学ぶ ②	・下描き～着彩～完成・提出	
7	・テクスチュアを使った抽象的な表現 ①	・抽象化した前回の作品をさらに整理～下描き～色入れ	
8	・テクスチュアを使った抽象的な表現 ②	・色入れ～完成	
9	・ペインティングナイフによるマチエールを活かした表現 ①	・花の資料収集～色入れ～完成	
10	・ペインティングナイフによるマチエールを活かした表現 ②	・色入れ～完成・提出	
11	・下地を活かした表現 ①	・ジェッソによる下地制作～アイデアスケッチ～資料収集	
12	・下地を活かした表現 ②	・下地制作（削り）～下描き～色入れ	
13	・まとめの作品制作 ①	・さまざまな技法を使ったイラストレーションの制作 ・テーマの設定～アイデアスケッチ～資料収集～下描き”	
14	・まとめの作品制作 ②	・さまざまな技法を使ったイラストレーションの制作 ・下描き～色入れ”	
15	・まとめの作品制作 ③	・さまざまな技法を使ったイラストレーションの制作 ・色入れ～完成・提出”	
成績評価	出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A評価）80点以上 B評価）70～79点 C評価）60～69点 D評価）不合格		

イラストレーション科		講師名： 杉森 孝	
科目名： 2年前期 美術人体解剖学		2学年	前期
担当者実務経験： 佐賀大学非常勤講師、九州産業大学非常勤講師、香蘭女子短期大学教授を経て、現在作家活動。 二科会デザイン部会員・審査員		講義種別： 実技	
到達目標	作品制作の過程でラフスケッチの段階は、頭に浮かんだイメージを紙やその他の媒体に定着させる最初のステップとなる。その作業は可能な限り手早く、なおかつ正確で、自由な発想を邪魔しない状態で描けることが望ましい。この授業では理解と描写が困難な人体について、「描く」ということから見た骨格や筋肉など各部位ごとの基礎知識とその描画を行うことで人体描写の基礎知識を身につける。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	・全身の比率とランドマーク 主要なランドマークとなる部位について、改めて理解する。	・さまざまな姿勢の画像にランドマーク（点）を打ち、骨格を描き込む。 ・さまざまな姿勢の画像を見ながら、骨格を描き、肉付けしてみる。	
2	・脊椎と骨盤についての理解 S字のバネ構造。傾きによるバランスの変化。 立ちポーズの正中線と肩・腰のラインを描く。	・脊椎と骨盤の知識を身につける。S字のバネ構造。傾きによるバランスの変化。立ちポーズの正中線と肩・腰のラインを描き脊椎と骨盤の関係を理解する	・資料を見ながら、実際に脊椎と骨盤を描く。個別に面談しながら制作を進める
3	胸郭と肩甲骨についての理解	胸郭と肩甲骨についての基礎知識/肋骨は「カゴ」、肩甲骨は「スライド」するパーツであることを知る。 ・胸郭を描いてみる。 ・背面からみた胸郭と肩甲骨を描く	個別に面談しながら制作を進める
4	前回までの授業の復習、未完成課題の完成、不明な点についての解決	前回までの授業内容について、不明な点、未完成部分、課題の完成、次回課題の予習など、個人面談形式を進めながら解決していく。	
5	頭蓋骨と顔についての基礎知識と描画 目・鼻・口・耳	・目・鼻・口・耳について ・頭蓋骨を描く ・描いた頭蓋骨の上に顔を描いてみる。	
6	・首と肩の繋がりについて理解する。	・首の筋肉の役割についての基礎知識 ・首の筋肉を描く	
7	肩から腕の連結	肩と腕の骨格・筋肉についての基礎知識 三角筋・大胸筋・上腕の構造を実際に描いて理解する。腕を上げた時の肩の盛り上がりと服のシワの関係を描く。	
8	前回までの授業の復習、未完成課題の完成、不明な点についての解決	前回までの授業内容について、不明な点、未完成部分、課題の完成、次回課題の予習など、個人面談形式を進めながら解決していく。	
9	・体幹の肉付け（胸・腹・背）	大胸筋と腕の関係、腹筋の構造についての基礎知識。胴体を捻ったポーズでの筋肉のねじれを描くことで構造を理解する。	
10	・腕と手の複雑な仕組みについて脚と足のライン	・手と腕の複雑な構造についての基礎知識を身につける。 ・表現の要とも言える、手と前腕を実際に描いてみる。	
11	脚と足について	・脚と足についての基礎知識と描画	
12	前回までの授業の復習、未完成課題の完成、不明な点についての解決	前回までの授業内容について、不明な点、未完成部分、課題の完成、次回課題の予習など、個人面談形式を進めながら解決していく。	
13	比較解剖学（人vs動物）	・人と動物の構造の相違点についての基礎知識・衣服と解剖学 / 人と動物の骨格図を描く	
14	衣服と解剖学	・骨の引っ張りを起点にしたシワの法則について。 ・トレーシングペーパーを使って衣服を描画する。	
15	今学期のまとめ	今学期の復習、前2回の授業の復習、課題確認と提出など、面談を交えて行う。	
成績評価	出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A評価) 80点以上 B評価) 70～79点 C評価) 60～69点 D評価) 不合格		

イラストレーション科		講師名： 下池 弘太	
科目名： 2年後期 Webデザイン		2学年	後期
担当者実務経験： デザイナー（DTP/Web）→ Webディレクター		講義種別： 実技	
到達目標	ノーコードWebサイト制作ツール「Studio」を活用し、自身のイラスト作品・制作活動を発信するポートフォリオサイトを企画・制作・公開することができる。また、Webサイトの基本的な構造（HTML・CSS・レスポンシブデザイン）およびAIツールの特性と活用方法を理解し、デジタル社会においてクリエイターとして自己表現・自己発信できる基礎的な情報発信力を身につける。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	Web制作おさらい + ガイダンス		
2	ポートフォリオとは + AIとWebの今 + サイト鑑賞・分析		
3	Studio入門 ↳アカウント開設・テンプレートを触って感覚をつかむ		
4	Studio入門 ↳デザイン4原則 + ページの仕組みを理解する		
5	ポートフォリオサイト制作 ↳サイト設計・掲載内容の整理		
6	ポートフォリオサイト制作 ↳テキストを作る		
7	ポートフォリオサイト制作 ↳TOPページ制作		
8	ポートフォリオサイト制作 ↳作品ページ制作		
9	ポートフォリオサイト制作 ↳プロフィール・自己PRページ + フォーム制作		
10	ポートフォリオサイト制作 ↳サイト全体の仕上げ・ブラッシュアップ①		
11	ポートフォリオサイト制作 ↳サイト全体の仕上げ・ブラッシュアップ②		
12	ポートフォリオサイト制作 ↳サイト全体の仕上げ・ブラッシュアップ③		
13	ポートフォリオサイト制作 ↳レビュー・相互フィードバック・修正		
14	ポートフォリオサイト制作 ↳公開・発表		
15	ポートフォリオサイト制作 ↳ブラッシュアップ		
成績評価	出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A評価）80点以上 B評価）70～79点 C評価）60～69点 D評価）不合格		

イラストレーション科		講師名： 弥 那	
科目名： 2年後期 イラストレーションⅡ		2学年	後期
担当者実務経験： 2020年日本デザイナー学院九州校を卒業 その後ARTASGALLERYや三越4階、新宿FEWMANY等で個展をしています。		講義種別： 実技	
到達目標	学生が少しでも授業や活動にモチベーションを持てる授業内容を設定。 また、基礎から応用への過程や幅広い表現、仕事への認識の仕方など伝える。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	イラストレーション授業の流れを説明 課題を設定 背景製作	課題ラフ	
2	引き続き課題制作	ラフ案提出	
3	課題制作		
4	課題製作 作品講評	課題提出	
5	課題の説明 課題に必要な力 課題製作	課題	
6	課題製作		
7	課題製作		
8	課題提出 講評	課題提出	
9	課題説明 課題に必要な物を調べる 課題製作	課題作品のテーマにするものを決める ラフ製作	
10	課題製作		
11	課題提出 講評	課題提出	
12	画材を使用し製作 テーマを決める 課題製作	テーマについてよりよく知る 自分の作品との理解	
13	ひたすら製作		
14	課題製作		
15	A・B合同授業 課題講評	課題最終提出日	
成績評価	出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A評価) 80点以上 B評価) 70～79点 C評価) 60～69点 D評価) 不合格		

イラストレーション科		講師名： 萩原 誠	
科目名： 2年後期 カルチャー史論		2学年	後期
担当者実務経験： 現ラジオパーソナリティ、テレビ・ラジオ・番組制作		講義種別： 講義	
到達目標	ポピュラーミュージック、ファッション、近代アートの歴史を中心として、その背景にある政治・経済など数々の社会問題を知り一般教養を身につける		
回	授業内容	課題内容	備考
1	講師自己紹介、サブカルチャーの歴史をなぜ学ぶのか？		
2	大航海時代と植民地、 西洋の文化と東洋の文化 幕末の日本の立場 1 5 世紀～		
3	アメリカ大陸への移住と開拓 ブルースやジャズの流行 ヨーロッパの白人文化とアフリカの黒人文化ブルースとは、ブギウギのリズムジャンルの話		
4	戦後の価値観とベビーブーム ダンスミュージックとしてのジャズとR&BJAZZとは		
5	50年代のアメリカロックンロール白人の若者が黒人の音楽に触れることによって起きる社会問題		
6	50年代のアメリカロックンロールエルビスプレスリーの登場 ロックンロールの衰退の理由		
7	第二次大戦と戦後の冷戦 民主主義、資本主義、社会主義、共産主義とはなぜ民主主義と社会主義が対立するのか		
8	60年代フォークからフォークロックへ、ボブデュラン登場		
9	60年代のイギリスロック イギリスとはどんな国なのか？イギリスでは自由な音楽スキップルが人気に、そしてビートルズがデビュー		
10	6 0 年代のヒット曲を聴くサイモンとガーファンクル、ボブデュラン、ビートルズを中心に		
11	シカゴブルースがロンドンで人気にローリングストーンズが誕生ギターヒーロが誕生するエリッククラプトン、ジェフベック、ジミーページ、ジミ・ヘンドリックス		
12	ブリティッシュロックがアメリカでヒットビートルズLIVE活動中止、サイケデリックロックへと		
13	反戦運動とヒッピーカルチャー、フラワームーブメント		
14	筆記試験		
15	授業まとめ、試験のおさらい		
成績評価	出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A評価) 80点以上 B評価) 70～79点 C評価) 60～69点 D評価) 不合格		

イラストレーション科		講師名： 奥田 和久	
科目名： 2年後期 グラフィックデザイン		2学年	後期
担当者実務経験： グラフィックデザイン事務所、フリーランスグラフィックデザイナー、イラストレーター		講義種別： 実技	
到達目標	文字、テキストと絵のバランス簡単なグラフィックデザイン自分のタッチ、自分のらしさの再確認など授業、課題を通して一歩社会的な動きを経験し絵でどうお金を作っていくかを意識してもらう		
回	授業内容	課題内容	備考
1	snsやプロフィール用に自分を表す画僧をイラストで制作	自分のアーティスト写真をイラストで制作	
2	snsやプロフィール用に自分を表す画僧をイラストで制作	自分のアーティスト写真をイラストで制作	
3	snsやプロフィール用に自分を表す画僧をイラストで制作提出	自分のアーティスト写真をイラストで制作	
4	文字、テキストと自分の絵との相性やバランスをとるフォントとタッチを合わせる	オリジナルのアルファベット表を制作	
5	文字、テキストと自分の絵との相性やバランスをとるフォントとタッチを合わせる	オリジナルのアルファベット表を制作	
6	文字、テキストと自分の絵との相性やバランスをとるフォントとタッチを合わせる	オリジナルのアルファベット表を制作	
7	アルファベット表制作作業/提出	オリジナルのアルファベット表を制作	
8	アルファベット表制作作業/提出新しい課題制作	オリジナルのアルファベット表を制作音楽ジャケット制作	
9	音楽ジャケット制作タイトルや曲名、クレジットなど自分の絵と合わせてレイアウト	音楽ジャケット制作	
10	タイトルや曲名、クレジットなど自分の絵と合わせてレイアウト	音楽ジャケット制作	
11	タイトルや曲名、クレジットなど自分の絵と合わせてレイアウト	音楽ジャケット制作	
12	タイトルや曲名、クレジットなど自分の絵と合わせてレイアウト	音楽ジャケット制作	
13	タイトルや曲名、クレジットなど自分の絵と合わせてレイアウト	音楽ジャケット制作	
14	音楽ジャケット制作/製本/提出	音楽ジャケット制作	
15	音楽ジャケット制作/製本/提出	音楽ジャケット制作	
成績評価	出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A評価) 80点以上 B評価) 70～79点 C評価) 60～69点 D評価) 不合格		

イラストレーション科		講師名： よしもと りえ	
科目名： 2年後期 コンセプトアート		2学年	後期
担当者実務経験： デザイン事務所にイラストレーターとして勤務後、フリーランスに。 2017年から縁起物作家として活動。 東京個展、企画展など参加多数。		講義種別： 実技	
到達目標	各自の適性を探りながら、生涯アート活動が続けられるよう、各自の適性を探りながら課題に取り組む。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	ガイダンス		
2	ミーティング&制作 ポートフォリオ制作		
3	ブレ企画書提出 ポートフォリオ制作		
4	ミーティング&制作 ポートフォリオ制作		
5	ミーティング&制作 ポートフォリオ制作		
6	ミーティング&制作 ポートフォリオ制作		
7	ミーティング&制作 ポートフォリオ制作		
8	正規企画書提出(1) ポートフォリオ制作		
9	ミーティング&制作 ポートフォリオ制作		
10	ミーティング&制作 ポートフォリオ制作		
11	中間プレゼン		
12	ミーティング&制作 ポートフォリオ制作		
13	ミーティング&制作 ポートフォリオ制作		
14	正規企画書提出(2)／春休み制作進行スケジュール ポートフォリオ制作		
15	ミーティング&制作 ポートフォリオ制作		
成績評価	出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A(評価) 80点以上 B(評価) 70～79点 C(評価) 60～69点 D(評価) 不合格		

イラストレーション科		講師名： 難波 佳代子	
科目名： 2年後期 ソーシャルデザイン		2学年	後期
担当者実務経験:UXリサーチャー/株式会社エービーシー・マート/株式会社イノベーション/株式会社新日本製菓株式会社/株式会社RetailAI/株式会社プレイド		講義種別： 実技	
到達目標	学生一人ひとりの中に、何が課題かを探究し、自ら課題設定するマインドを養う。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	チーム分け ガイダンス		
2	チームの課題を企画化する企画書にまとめる		
3	企画の発表、対話の技法企画のブラッシュアップ(その1) 発表の結果を踏まえて、チーム内で企画を再検討		
4	企画のブラッシュアップ(その2) レビューの結果を反映		
5	ゲスト講演(卒業生社会人)		
6	企画のブラッシュアップ(その3)		
7	企画のブラッシュアップ(その4)中間発表準備		
8	中間発表1		
9	中間発表2		
10	ゲスト講演(ソーシャルデザイン分野で活躍する社会人)プレゼン準備		
11	プレゼン準備		
12	プレゼン準備		
13	企業や自治体へのプレゼン!(その1)		
14	企業や自治体へのプレゼン!(その2)		
15	全体振り返り		
成績評価	出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出。各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。A評価) 80点以上 B評価) 70～79点 C評価) 60～69点 D評価) 不合格		

イラストレーション科		講師名： 宮川 ちえ	
科目名： 2年後期 デジタルイラストⅡ		2学年	後期
担当者実務経験： ジュエリーデザイナー・イラストレーター・大学非常勤講師		講義種別： 実技	
到達目標	Adobeソフトを利用したデジタル制作への理解を深める		
回	授業内容	課題内容	備考
1	オリエンテーション		
2	課題①オリジナルアバター制作		
3	課題①		
4	課題①		
5	課題②デフォルメイラスト		
6	課題②		
7	課題③アイコン制作		
8	課題③		
9	課題③		
10	課題③		
11	課題③		
12	課題⑤ロゴ制作		
13	課題⑤		
14	課題⑥プレゼン制作		
15	課題⑥		
成績評価	出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A評価) 80点以上 B評価) 70～79点 C評価) 60～69点 D評価) 不合格		

イラストレーション科		講師名： 鳥越 一輝	
科目名： 2年後期 ビジュアルアート		2学年	後期
担当者実務経験： ●鳥越ゼミ 画家 鳥越一輝 国内外 個展、アートフェア多数 鳥越ゼミ		講義種別： 実技	
到達目標	●2年時終了後展示可能な作品を制作する（個展、グループ展） ●制作活動原点となり学校生活頂点となる作品の制作を目指す。また卒業後 作家活動の為の模擬。基本毎回面談し次回作と一緒に構想。授業中制作、持ち帰り制作。来週、再来週（時間がかかるものは要相談）に提出してもらいます。この継続する力こそ三年生の卒業制作と卒業後の作家活動に必ず役に立ちます。失敗もたくさんしながら好きなものや成功を体感しましょう！なんでも相談してください。卒業後展示可能な作品を制作する		
回	授業内容	課題内容	備考
1	作家の自主制作とは	講義 意見交換	
2	それぞれの日常卒制に向けて	アイデアから制作へ展開	
3	自分の興味関心とは	自己の追求	
4	それぞれの日常制作	日常から制作への構想	
5	それぞれの日常 日作と新作	個別課題	
6	それぞれの日常表現	個別課題	
7	それぞれの日常 挑戦	個別課題	
8	それぞれの日常 環境	個別課題	
9	それぞれの日常 言語化	個別課題	
10	それぞれの日常 脈略	個別指導	
11	それぞれの日常 歴史	個別指導	
12	それぞれの日常 題材	個別指導	
13	それぞれの日常 造形	個別指導	
14	それぞれの日常 日本	個別指導	
15	それぞれの日常 文化	個別指導	
成績評価	●出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A評価) 80点以上 B評価) 70～79点 C評価) 60～69点 D評価) 不合格		

イラストレーション科		講師名： 杉森 孝	
科目名： 2年後期 ポートフォリオ制作		2学年	後期
担当者実務経験： 佐賀大学非常勤講師、九州産業大学非常勤講師、香蘭女子短期大学教授を経て、現在作家活動。 二科会デザイン部会員・審査員		講義種別： 実技	
到達目標	これまで課題や自主的に制作してきた作品など、全ての創作活動のまとめと進路活動のためのポートフォリオを制作する。そのために必要なデザインの知識とスキルを身につける。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	”・授業ガイダンス ・ポートフォリオについての基礎知識”	・今学期の最終目標について具体的に提示する ・ポートフォリオとは何か調査し整理する。	
2	・雑誌やパンフレットなど冊子形式のグラフィックデザインについて 1	・冊子形式のグラフィックデザインを進めていくために必要な知識について 資料収集と演習	
3	・雑誌やパンフレットなど冊子形式のグラフィックデザインについて 2	・冊子形式のグラフィックデザインを進めていくために必要な知識について 資料収集と演習	
4	・雑誌やパンフレットなど冊子形式のグラフィックデザインについて 3	・冊子形式のグラフィックデザインを進めていくために必要な知識について 資料収集と演習	
5	・各自のポートフォリオ制作 1	・参考作品の収集と整理～コンセプトを立てる	
6	・各自のポートフォリオ制作 2	・デザイン案作成～個別添削指導	
7	・各自のポートフォリオ制作 3	・作品収集～整理 ・個別添削指導	
8	・各自のポートフォリオ制作 4	・データ制作 レイアウト～	
9	・各自のポートフォリオ制作 5	・データ制作 レイアウト～完成	
10	・各自のポートフォリオ制作 6	・添削指導 ・ダミー作成	
11	・各自のポートフォリオ制作 7	・ダミー作成 ・添削指導 レイアウト等チェック	
12	・各自のポートフォリオ制作 8	・ダミー作成（修正版含む） ・添削指導 レイアウト等チェック	
13	・講評会	・全員のポートフォリオを参考にして、自分のポートフォリオをブラッシュアップ	
14	・各自のポートフォリオ制作 9	・修正、追加などポートフォリオの充実を図る。	
15	・各自のポートフォリオ制作 10	・提出作業	
成績評価	出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A評価) 80点以上 B評価) 70～79点 C評価) 60～69点 D評価) 不合格		

イラストレーション科		講師名： 財津 香壽子	
科目名： 2年後期 就職対策		2学年	後期
担当者実務経験：・朝日新聞社 東京本社 宣伝部・（株）プランニング秀巧社 経営企画部長・ILPお茶の水医療福祉専門学校 副校長・講師：中村学園大学流通科学部、久留米歯科衛生専門学校、九州英数学館、共生館カレッジなど・中村学園大学・短期大学部 キャリア・カウンセラー・厚生労働省 就職ガイダンス講師・福岡県 県立学校等初任者研修 講師・厚生労働省 キャリアコンサルタント／キャリアコンサルタント技能士 試験委員		講義種別： 講義	
到達目標	①自分らしいキャリアについて主体的・能動的に考察し、卒業後の進路を自ら選択・決定できるようになる。 ②就職活動の流れ・ポイントを理解し、主体的に取り組むことができるようになる。 ③社会人として求められる心がまえ・姿勢や能力が理解でき、それを実践できるようになる。 ♣本講座は、就職だけを到達目標とするのではなく、卒業後の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てる「社会に出るための準備教育」である。 ♣講座内容を実践に活かすために、全講座を通して、個別対応・指導を実施する。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	第1回 オリエンテーション 自己分析1 社会人基礎力チェック	第1回 社会人基礎力チェック	
2	第2回 自己分析2 アセスメントから自分を知る エゴグラム・モチベーショングラフ作成	第2回 エゴグラム／モチベーショングラフ作成	
3	第3回 自己分析3 コミュニケーション力・人間力チェック	第3回 コミュニケーション力・人間力チェック	
4	第4回 他己分析 ジョハリの窓	第4回 ジョハリの窓	
5	第5回 仕事理解 職業に対する興味を知る 職業興味検査VPI	第5回 職業興味検査（VPI実施）	
6	第6回 自己分析・他己分析から自己PRシートを作成 強み・弱みシート作成	第6回 強み・弱みシート作成	
7	第7回 履歴書作成の基本 学校様式履歴書の基本事項記入	第7回 学校様式履歴書作成 ①	
8	第8回 趣味・特技・参加イベント、志望動機の書き方 学校様式履歴書の記入	第8回 学校様式履歴書作成 ②	
9	第9回 自己PRの書き方 自己PRシート作成	第9回 自己PRシート作成	
10	第10回 ガクチカ（学生時代に力を入れたこと）の書き方 学生生活マトリックス／ガクチカシート作成	第10回 学生生活マトリックス／ガクチカシート作成	
11	第11回 自己PR／ガクチカ作成 個別対応	第11回 自己PR／ガクチカ作成	
12	第12回 ESとは？ 応募書類作成の手順、郵送の知識／封筒の書き方	第12回 応募書類（封筒作成）	
13	第13回 送付文の書き方／メールの書き方 面接の形式と流れ	第13回 送付文作成	
14	第14回 面接の身だしなみ web面接・グループディスカッションのポイント		
15	第15回 面接（入退室の流れ） 自己PR／ガクチカ作成	第15回 自己PR／ガクチカ作成	
成績評価	・出席および授業態度、習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 ・期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出。 ・各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 ・A評価）80点以上 B評価）70～79点 C評価）60～69点 D評価）不合格”		

イラストレーション科		講師名： 杉森 孝	
科目名： 2年後期 美術人体解剖学		2学年	後期
担当者実務経験： 佐賀大学非常勤講師、九州産業大学非常勤講師、香蘭女子短期大学教授を経て、現在作家活動。 二科会デザイン部会員・審査員		講義種別： 実技	
到達目標	資料なしでも、ある程度正確なラフスケッチができるようになることを最終目標にしながら、前期は人体解剖学の基礎を学んだ。後期では、前期で学んだ「解剖学の基礎（構造の理解）」を基に、「知識を『表現』へと昇華させることを目標にしていきます。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	ジェスチャードローイング 構造に縛られず、全体の「流れ」を一気に描く。	短時間でのクロッキーで流れや動きを捉える。	
2	人体描写でのパースの応用	パースのついた手足の重なりを構造で捉え直す。	
3	捻りと圧縮（伸縮） 筋肉の「伸びる側」と「段差ができる側」の対比。	激しいアクションポーズでの筋肉の伸縮表現。	
4	前回までの授業内容の復習、未完成課題の完成、追加課題の制作	これまでの授業内容の不明点、未完成のままの課題作品の制作と完成、追加課題の制作などを行いながら、個別に面談形式で課題のチェック等を行う。	
5	脂肪・皮膚・性差の表現 筋肉の上にいる脂肪。男女のシルエットの違い。	男女の描き分け（肩幅・骨盤・脂肪のつき方）。	
6	年齢の描き分け 子供の比率と、老人の「骨感」と「たるみ」。	幼児から老人まで、同一人物の年齢変化を描いてみる。	
7	ライティングと陰影 筋肉の凹凸が作る影を「面」で捉える。	強い光源を設定した時の、筋肉による影の落ち方、陰影の表現。	
8	前回までの授業内容の復習、未完成課題の完成、追加課題の制作	これまでの授業内容の不明点、未完成のままの課題作品の制作と完成、追加課題の制作などを行いながら、個別に面談形式で課題のチェック等を行う。	
9	デフォルメと解剖学を関連づける 「省略」しても良い場所と「強調」すべき構造。	リアルな解剖図をアニメ・マンガ調に表現し直す。	
10	異形・クリーチャーのデザインを解剖学の応用で。 人体構造をベースにしたモンスター設計。	異形のものやクリーチャーなどの構造を論理的に描く。	
11	自由制作（設定編） 最終課題のコンセプトと解剖学的設定。	キャラクターの骨格図・筋肉図を含めたラフ制作。	
12	前回までの授業内容の復習、未完成課題の完成、追加課題の制作	これまでの授業内容の不明点、未完成のままの課題作品の制作と完成、追加課題の制作などを行いながら、個別に面談形式で課題のチェック等を行う。	
13	自由制作（制作編） 質感やシワ、ライティングなど、詳細の表現 ①	一枚の絵としての完成度を高めるための実習。	
14	自由制作（制作編） 質感やシワ、ライティングなど、詳細の表現 ②	一枚の絵としての完成度を高めるための実習。	
15	授業全体を通しての振り返りと今後に向けて。	全授業回数を終えて、不明な点、理解できていないこと、未完成課題などのクリアと今学期中の課題の最終チェック等を面談しながら行う。	
成績評価	出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A評価）80点以上 B評価）70～79点 C評価）60～69点 D評価）不合格		

イラストレーション科		講師名： 下池 弘太	
科目名： 3年前期 Webデザイン		3学年	前期
担当者実務経験： デザイナー（DTP/Web）→ Webディレクター		講義種別： 実技	
到達目標	ノーコードWebサイト制作ツール「Studio」を活用し、自身のイラスト作品・制作活動を発信するポートフォリオサイトを企画・制作・公開することができる。また、Webサイトの基本的な構造（HTML・CSS・レスポンシブデザイン）およびAIツールの特性と活用方法を理解し、デジタル社会においてクリエイターとして自己表現・自己発信できる基礎的な情報発信力を身につける。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	Web制作おさらい + ガイダンス		
2	ポートフォリオとは + AIとWebの今 + サイト鑑賞・分析		
3	Studio入門 ↳アカウント開設・テンプレートを触って感覚をつかむ		
4	Studio入門 ↳デザイン4原則 + ページの仕組みを理解する		
5	ポートフォリオサイト制作 ↳サイト設計・掲載内容の整理		
6	ポートフォリオサイト制作 ↳テキストを作る		
7	ポートフォリオサイト制作 ↳TOPページ制作		
8	ポートフォリオサイト制作 ↳作品ページ制作		
9	ポートフォリオサイト制作 ↳プロフィール・自己PRページ + フォーム制作		
10	ポートフォリオサイト制作 ↳サイト全体の仕上げ・ブラッシュアップ①		
11	ポートフォリオサイト制作 ↳サイト全体の仕上げ・ブラッシュアップ②		
12	ポートフォリオサイト制作 ↳サイト全体の仕上げ・ブラッシュアップ③		
13	ポートフォリオサイト制作 ↳レビュー・相互フィードバック・修正		
14	ポートフォリオサイト制作 ↳公開・発表		
15	ポートフォリオサイト制作 ↳ブラッシュアップ		
成績評価	出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A評価）80点以上 B評価）70～79点 C評価）60～69点 D評価）不合格		

イラストレーション科		講師名： よしもと りえ	
科目名： 3年前期 イラストレーションⅡ		3学年	前期
担当者実務経験： デザイン事務所にイラストレーターとして勤務後、フリーランスに。 2017年から縁起物作家として活動。 東京個展、企画展など参加多数。		講義種別： 実技	
到達目標	「画力アップ」に向けてスキルアップする。 また、各自、自分の強み弱みを自覚し、自主的に課題に取り組む。 それぞれ、ポートフォリオを完成させる。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	ガイダンス	この授業の時間を使って、画力アップ課題に取り組みながら基本的なポートフォリオを制作します。	
2	ポートフォリオ表紙 デッサン3点を選択持参		
3	共通課題 「キャラクター立ち絵」（全身）①		
4	共通課題 「キャラクター立ち絵」（全身）②		
5	選択課題(1)		
6	選択課題（2）		
7	選択課題（3）		
8	選択課題（4）		
9	選択課題（5）		
10	選択課題（6）		
11	共通課題 「背景イラスト」①		
12	共通課題 「背景イラスト」②		
13	自由課題①		
14	自由課題②		
15	講評会	課題最終提出日	
成績評価	出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A評価）80点以上 B評価）70～79点 C評価）60～69点 D評価）不合格		

イラストレーション科		講師名： よしもと りえ	
科目名： 3年前期 コンセプトアート		3学年	前期
担当者実務経験： デザイン事務所にイラストレーターとして勤務後、フリーランスに。 2017年から縁起物作家として活動。 東京個展、企画展など参加多数。		講義種別： 実技	
到達目標	各自の適性を探りながら、生涯アート活動が続けられるよう、各自の適性を探りながら課題に取り組む。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	ガイダンス 各グループ進捗報告		
2	各グループ制作進行 （個人課題制作）		
3	各グループ制作進行 （個人課題制作）		
4	各グループ制作進行 （個人課題制作）		
5	各グループ制作進行 （個人課題制作）		
6	各グループ制作進行 （個人課題制作）		
7	各グループ制作進行 （個人課題制作）		
8	各グループ制作進行 （個人課題制作）		
9	各グループ制作進行 （個人課題制作）		
10	各グループ制作進行 （個人課題制作）		
11	各グループ制作進行 （個人課題制作）		
12	各グループ報告会		
13	各グループ制作進行 （個人課題制作）		
14	各グループ制作進行 （個人課題制作）		
15	各グループ報告会 実施レポート最終締切		
成績評価	出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A評価）80点以上 B評価）70～79点 C評価）60～69点 D評価）不合格		

イラストレーション科		講師名： 難波 佳代子	
科目名： 3年前期 ソーシャルデザイン		3学年	前期
担当者実務経験:UXリサーチャー/株式会社エーピーシー・マート/株式会社イノベーション/株式会社新日本製菓株式会社/株式会社RetailAI/株式会社ブレイド		講義種別： 実技	
到達目標	フィールドワーク(現地観察)を通じて「いつ、どのような時に、どんな行動をして、どんな気持ちでいるのか」を事実をもとに丁寧に捉え、多様化するライフスタイルや地域社会が抱える問題を発見し、インテリアやデザインを通して課題を解決する実践的な提案力を養う。 主題：福岡のまちづくりのリデザインを通じた参加型リサーチモデルの構築 目的：既存の街中の社会システムやサービスのフローを分解し、現場の課題を発見・定義し、定性調査結果に基づいた「市民が心から喜んで参加できる」デザイン提案を作成すること。 主な課題テーマ：商業施設を対象とした提案(仮)		
回	授業内容	課題内容	備考
1	第1回：顧客理解の基礎。ユーザーリサーチの役割や、顧客理解の重要性について学びます。ユーザーリサーチのプロセス（知る・つかむ・見つける・考える）を理解します。	①インタビュー調査企画書 ②定性分析レポート ③プレゼンテーション資料(企画提案スライド)	
2	第2回：調査企画ワークショップ。推測と現実データのギャップを体感し、定量データからの現状把握と課題の深掘りを行います。調査設計のフレームワーク（事実・課題仮説・対象者・質問内容・手法）を学び、論理に飛躍がないか批判的な目（天使と悪魔の視点）で見るスキルを養います。		
3	第3回：現状理解とフィールドワークの基礎。利用者の体験を深く理解するためのフィールドワークの手法を学びます。複数の手法を組み合わせる「トライアングルレーション」、内側の視点（イーマック）と外側の視点（エティック）の行き来、フィールドノートの取り方などを習得します。		
4	第4回：具体的な課題設定と質問案作成 フィールドワーク現状（前提情報）を把握し、事実と解釈に基づいた的確な質問案を作成します。		
5	第5回：調査設計の深化 フィールドワーク(現地リサーチ)に向けた調査設計を行います。		
6	第6回：調査企画書の作成・発表 目的・調査課題・仮説・ゴールを言語化した「インタビュー調査企画書」のワークシートを完成させます。		
7	第7回：リサーチの実施・前半 現地での観察や、必要に応じて電話・LINEなどでのインタビュー調査を実施します。		
8	第8回：リサーチの実施・後半 現地での観察や、必要に応じ		
9	第9回：ファクトの整理 フィールドワークやインタビューで得た「ファクト（定量・定性データ）」を一覧にして分析を行います。		
10	第10回：分析の深化とペルソナ設定 AIを活用して効率的に定性分析を行うコツと、飛躍しすぎる示唆への注意点（自分の頭で検証・再構成する重要性）を学びます。		
11	第11回：施策案と習慣化の仕組みプレゼンテーション構成案の作成		
12	第12回：アウトプット作成(ポスター、UIなど)		
13	第13回：プレゼンテーション資料作成		
14	第14回：プレゼンテーション資料作成・クラス内		
15	第14回：まとめ		
成績評価	出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A(評価) 80点以上 B(評価) 70～79点 C(評価) 60～69点 D(評価) 不合格		

イラストレーション科		講師名： 宮川 ちえ	
科目名： 3年前期 デジタルイラストⅡ		3学年	前期
担当者実務経験： ジュエリーデザイナー・イラストレーター・大学非常勤講師		講義種別： 実技	
到達目標	デジタルでの制作を通して自ら定めた目標を達成する、また、作品のブラッシュアップを行えるようになる。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	オリエンテーション		
2	課題①イラストコンペ		
3	課題①イラストコンペ		
4	課題①イラストコンペ		
5	課題①イラストコンペ		
6	課題①イラストコンペ		
7	課題②	作品集に足りない作品を制作する	
8	課題②		
9	課題②		
10	課題③	既にある作品をブラッシュアップする	
11	課題③		
12	課題③		
13	課題④	作品集の表紙や製本などブラッシュアップをする	
14	課題④		
15	課題④		
成績評価	出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A評価) 80点以上 B評価) 70～79点 C評価) 60～69点 D評価) 不合格		

イラストレーション科		講師名： 杉森 孝	
科目名： 3年前期 ポートフォリオ制作		3学年	前期
担当者実務経験： 佐賀大学非常勤講師、九州産業大学非常勤講師、香蘭女子短期大学教授を経て、現在作家活動。 二科会デザイン部会員・審査員		講義種別： 実技	
到達目標	就職活動及び卒業後の進路のためのポートフォリオの制作。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	・2年次に制作したポートフォリオの添削と個別指導	・2年次に制作したポートフォリオを元に今後の方向性について個別に相談して決定していく。	
2	・新たなポートフォリオの制作に向けて ①	・前回の個別指導後の進捗状況のチェックと次回への指導	
3	・新たなポートフォリオの制作に向けて ②	・前回の個別指導後の進捗状況のチェックと次回への指導	
4	・新たなポートフォリオの制作に向けて ③	・前回の個別指導後の進捗状況のチェックと次回への指導	
5	・新たなポートフォリオの制作に向けて ④	・前回の個別指導後の進捗状況のチェックと次回への指導	
6	・新たなポートフォリオの制作に向けて ⑤	・前回の個別指導後の進捗状況のチェックと次回への指導	
7	・新たなポートフォリオの制作に向けて ⑥	・前回の個別指導後の進捗状況のチェックと次回への指導	
8	・新たなポートフォリオの制作に向けて ⑦	・講評会と次回への指導	
9	・新たなポートフォリオの制作に向けて ⑧	・前回の個別指導後の進捗状況のチェックと次回への指導	
10	・新たなポートフォリオの制作に向けて ⑨	・前回の個別指導後の進捗状況のチェックと次回への指導	
11	・新たなポートフォリオの制作に向けて ⑩	・前回の個別指導後の進捗状況のチェックと次回への指導	
12	・新たなポートフォリオの制作に向けて ⑪	・前回の個別指導後の進捗状況のチェックと次回への指導	
13	・新たなポートフォリオの制作に向けて ⑫	・前回の個別指導後の進捗状況のチェックと次回への指導	
14	・新たなポートフォリオの制作に向けて ⑬	・前回の個別指導後の進捗状況のチェックと次回への指導	
15	・最終面談と講評 提出作業	・講評 未完成の場合は最終の作業と提出の作業を行いながら最終面談を行う。	
成績評価	出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A評価) 80点以上 B評価) 70～79点 C評価) 60～69点 D評価) 不合格		

イラストレーション科		講師名： 財津 香壽子	
科目名： 3年前期 就職対策		3学年	前期
担当者実務経験： ・朝日新聞社 東京本社 宣伝部・（株）プランニング秀巧社 経営企画部長・ILPお茶の水医療福祉専門学校 副校長・講師：中村学園大学流通科学部、久留米歯科衛生専門学校、九州英数学館、共生館カレッジなど ・中村学園大学・短期大学部 キャリア・カウンセラー・厚生労働省 就職ガイダンス講師・福岡県 県立学校等初任者研修 講師・厚生労働省 /キャリアコンサルタント/キャリアコンサルティング技能士 試験委員		講義種別： 講義	
到達目標	①自分らしいキャリアについて主体的・能動的に考察し、卒業後の進路を自ら選択・決定できるようになる。 ②就職活動の流れ・ポイントを理解し、主体的に取り組むことができるようになる。 ③社会人として求められる心がまえ・姿勢や能力が理解でき、それを実践できるようになる。 ♣本講座は、就職だけを到達目標とするのではなく、卒業後の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てる「社会に出るための準備教育」である。 ♣講座内容を実践に活かすために、全講座を通して、個別対応・指導を実施する。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	第1回 ES／履歴書／自己PR/ガクチカ作成個別対応	第1回 ES／履歴書／自己PR/ガクチカ作成	
2	第2回 求人票の見方		
3	第3回 労働・雇用に関する基礎知識1 労働法とは？		
4	第4回 労働・雇用に関する基礎知識2 社会保険とは？		
5	第5回 給与明細の見方 マネープラン作成	第5回 マネープラン作成	
6	第6回 企業研究の方法 Job tag	第6回 企業研究 ワークシート作成	
7	第7回 グループディスカッション演習	第7回 グループディスカッション演習	
8	第8回 面接の質問と答え方		
9	第9回 ビジネス電話の基本 電話での求人の問い合わせ演習	第9回 電話での求人問い合わせ演習	
10	第10回 ES／履歴書／自己PR/ガクチカ作成、個別テーマ：挫折経験 面接指導（個別）		
11	第11回 ES／履歴書／自己PR/ガクチカ作成、個別テーマ：みんなで協力して 成し遂げたこと 面接指導（個別）	第11回 ES 個別テーマ「みんなで協力して成し遂げた事」作成	
12	第12回 グループ面接演習	第12回 グループ面接演習	
13	第13回 ビジネスに必要な8つの意識と義務	第13回 ビジネスに必要な8つの意識と義務 ケーススタディ	
14	第14回 組織人としての心構え1 共に働く力：コミュニケーションゲームを通して学ぶ		
15	第15回 組織人としての心構え2 まとめ／3年後のキャリアプラン作成		
成績評価	・出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 ・期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出。 ・各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 ・A評価）80点以上 B評価）70～79点 C評価）60～69点 D評価）不合格”		

イラストレーション科		講師名： 夏目 レモン	
科目名： 3年前期 卒業制作ゼミ 夏目		3学年	前期
担当者実務経験： ゲーム会社勤務 その後フリーランスイラストレーター 個人画集citron螺鈿発売 透明水彩で描くキャラクターイラスト発売		講義種別： 卒業制作	
到達目標	3年間の集大成をすること スケジュール管理の徹底		
回	授業内容	課題内容	備考
1	テーマ、コンセプトのすり合わせ	何が得意なのか 何を作りたいのか打ち合わせ	
2	テーマ、コンセプトのすり合わせ 資料探し		
3	テーマ、コンセプトのすり合わせ 資料探し		
4	初回プレゼンに向けての資料作成 スケジュールのすり合わせ		
5	初回プレゼンに向けての資料作成 スケジュールのすり合わせ		
6	初回プレゼンに向けての資料作成 スケジュールのすり合わせ		
7	初回プレゼンに向けての資料作成		
8	卒制進捗確認		
9	卒制進捗確認		
10	卒制進捗確認		
11	卒制進捗確認		
12	卒制進捗確認		
13	卒制進捗確認 プレゼンに向けての準備		
14	卒制進捗確認 プレゼンに向けての準備		
15	卒制進捗確認 プレゼンに向けての準備		
成績評価	出席50%成果物50%		

イラストレーション科		講師名： 小宮 貴一郎	
科目名： 3年前期 卒業制作ゼミ 小宮		3学年	前期
担当者実務経験： フリーのイラストレーターとして、広告を中心に制作		講義種別： 卒業制作	
到達目標	長期の制作に必要な技術、思考の向上、計画性を身につけ、学生生活の集大成となる作品を完成する。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	制作に必要なコンセプト、姿勢、計画の準備		
2	制作に必要なコンセプト、姿勢、計画の準備		
3	制作に必要なコンセプト、姿勢、計画の準備		
4	制作に必要なコンセプト、姿勢、計画の準備		
5	制作に必要なコンセプト、姿勢、計画の準備		
6	制作に必要なコンセプト、姿勢、計画の準備		
7	制作に必要なコンセプト、姿勢、計画の準備		
8	コンセプトの確認、計画表の作成		
9	コンセプトの確認、計画表の作成		
10	コンセプトの確認、計画表の作成		
11	コンセプトの確認、計画表の作成から制作開始		
12	コンセプトの確認、計画表の作成から制作開始		
13	制作、進捗の確認		
14	制作、進捗の確認		
15	制作、進捗の確認		
成績評価	プレゼンでの評価 各20点／計100点 コンセプトの明確さ コンセプトとの一致 ボリューム 構成 プレゼン		

イラストレーション科		講師名： 鳥越 一輝	
科目名： 3年前期 卒業制作ゼミ 鳥越		3学年	前期
担当者実務経験： ●鳥越ゼミ 画家 鳥越一輝 国内外 個展、アートフェア多数		講義種別： 卒業制作	
到達目標	●卒業後展示可能な作品を制作する ●制作活動原点となり 学校生活頂点となる作品の制作を目指す。また卒業後、作家活動の為の面談をし、次回作と一緒に構想。 授業中制作、持ち帰り制作。来週、再来週（時間がかかるものは要相談）に提出してもらいます。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	社会と作家の自主制作とは（ゼミ編）	講義 意見交換	
2	それぞれの日常卒制に向けて	アイデアから制作へ展開	
3	自分の興味関心とは	自己の追求	
4	それぞれの日常制作	日常から制作への構想	
5	それぞれの日常 日作と新作	個別課題	
6	それぞれの日常表現	個別課題	
7	それぞれの日常 挑戦	個別課題	
8	それぞれの日常 環境	個別課題	
9	それぞれの日常 言語化	個別課題	
10	それぞれの日常 脈略	個別指導	
11	それぞれの日常 歴史	個別指導	
12	それぞれの日常 題材	個別指導	
13	それぞれの日常 造形	個別指導	
14	それぞれの日常 日本	個別指導	
15	それぞれの日常 文化	個別指導	
成績評価	●出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A評価）80点以上 B評価）70～79点 C評価）60～69点 D評価）不合格		

イラストレーション科		講師名： よしもと りえ	
科目名： 3年前期 卒業制作実習		3学年	前期
担当者実務経験： デザイン事務所にイラストレーターとして勤務後、フリーランスに。 2017年から縁起物作家として活動。 東京個展、企画展など参加多数。		講義種別： 卒業制作	
到達目標	各自のテーマや目標を設定し、早めに準備を始めることで、より深掘りし多様な表現を取り入れ完成度の高い制作をする。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	ガイダンス 個人面談 前期の制作スケジュールを作成		
2	個人面談 前期の制作スケジュールを作成		
3	プレゼン準備と制作		
4	プレゼン準備と制作		
5	プレゼン準備と制作		
6	プレゼン準備と制作		
7	個人面談 プレゼン準備と制作		
8	プレゼン準備と制作		
9	プレゼン準備と制作		
10	クラス内プレゼン実施		
11	全体プレゼン準備と制作 (必要に応じて個人面談)		
12	夏休みのスケジュール作成		
13	夏休みの成果報告 (個人面談)		
14	夏休みの成果報告 (個人面談)		
15	全体プレゼン準備と制作		
成績評価	出席点30%、課題提出点50%、意欲態度20%		

イラストレーション科		講師名： 夏目 レモン	
科目名： 3年後期 卒業制作ゼミ 夏目		3学年	後期
担当者実務経験： ゲーム会社勤務 その後フリーランスイラストレーター 個人画集citron螺鈿発売 透明水彩で描くキャラクターイラスト発売		講義種別： 卒業制作	
到達目標	3年間の集大成を作成する スケジュール管理の徹底		
回	授業内容	課題内容	備考
1	進捗確認 スケジュールのすり合わせ 展示イメージ		
2	進捗確認 プレゼン準備		
3	進捗確認 プレゼン準備		
4	卒制進捗確認		
5	卒制進捗確認		
6	卒制進捗確認		
7	卒制進捗確認		
8	卒制進捗確認		
9	卒制進捗確認		
10	卒制進捗確認 入稿物のチェック		
11	卒制進捗確認 入稿物のチェック		
12	卒制進捗確認		
13	卒制最終チェック		
14	卒展に向けての準備		
15	卒展に向けての準備		
成績評価	最終的な卒業制作の点数 70点以上で合格		

イラストレーション科		講師名： 小宮 貴一郎	
科目名： 3年後期 卒業制作ゼミ 小宮		3学年	後期
担当者実務経験： フリーのイラストレーターとして、広告を中心に制作		講義種別： 卒業制作	
到達目標	長期の制作に必要な技術、思考の向上、計画性を身につけ、学生生活の集大成となる作品を完成する。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	制作、進捗の確認		
2	制作、進捗の確認		
3	制作、進捗の確認		
4	制作、進捗の確認		
5	制作、進捗の確認		
6	制作、進捗の確認		
7	制作、進捗の確認		
8	制作、進捗の確認		
9	制作、進捗の確認		
10	制作、進捗の確認		
11	制作、進捗の確認		
12	進捗の確認、卒制展の計画、準備		
13	進捗の確認、卒制展の計画、準備		
14	進捗の確認、卒制展の計画、準備		
15	進捗の確認、卒制展の計画、準備		
成績評価	出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A評価) 80点以上 B評価) 70～79点 C評価) 60～69点 D評価) 不合格		

イラストレーション科		講師名： 鳥越 一輝	
科目名： 3年後期 卒業制作ゼミ 鳥越		3学年	後期
担当者実務経験： ●鳥越ゼミ 画家 鳥越一輝 国内外 個展、アートフェア多数 鳥越ゼミ		講義種別： 卒業制作	
到達目標	●卒業後展示可能な作品を制作する ●制作活動原点となり 学校生活頂点となる作品の制作を目指す。また卒業後 作家活動の為の模擬。基本毎回面談し次回作と一緒に構想。授業中制作、持ち帰り制作 来週、再来週（時間がかかるものは要相談）に提出してもらいます。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	作家の自主制作とは	講義 意見交換	
2	それぞれの日常卒制に向けて	アイデアから制作へ展開	
3	自分の興味関心とは	自己の追求	
4	それぞれの日常制作	日常から制作への構想	
5	それぞれの日常 日作と新作	個別課題	
6	それぞれの日常表現	個別課題	
7	それぞれの日常 挑戦	個別課題	
8	それぞれの日常 環境	個別課題	
9	それぞれの日常 言語化	個別課題	
10	それぞれの日常 脈略	個別指導	
11	それぞれの日常 歴史	個別指導	
12	それぞれの日常 題材	個別指導	
13	それぞれの日常 造形	個別指導	
14	それぞれの日常 日本	個別指導	
15	それぞれの日常 文化	個別指導	
成績評価	●出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A評価) 80点以上 B評価) 70～79点 C評価) 60～69点 D評価) 不合格		

イラストレーション科		講師名： よしもと りえ	
科目名： 3年後期 卒業制作実習		3学年	後期
担当者実務経験： デザイン事務所にイラストレーターとして勤務後、フリーランスに。 2017年から縁起物作家として活動。 東京個展、企画展など参加多数。		講義種別： 卒業制作	
到達目標	前期に引き続き、スケジュール管理しながら完成度の高い作品を制作する。 制作物の管理、データ入稿状況など、必要に応じて確認しながら進める。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	ガイダンス	個人面談（1）	
2	プレゼン準備、制作	個人面談（2）	
3	制作	各個人の制作物に対応して、それぞれ制作	
4	制作	（必要に応じて個人面談）	
5	計画のブラッシュアップ、制作		
6	制作		
7	プレゼン準備		
8	ブラッシュアップ、制作		
9	制作		
10	冬休みのスケジュール確認、制作		
11	データ入稿状況確認、制作		
12	データ入稿状況確認、制作		
13	最終確認、制作		
14	展示準備		
15	展示準備		
成績評価	出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A評価）80点以上 B評価）70～79点 C評価）60～69点 D評価）不合格		